

高齢者福祉施設のケア環境における居住支援と建築計画



Keyword

介護老人福祉施設、通所施設、グループホーム
個室・ユニットケア、小規模多機能ケア

連絡先 建築土木工学科 教授 市川 秀和

電話 0776-29-2590

E-mail hidei@fukui-ut.ac.jp



ケア環境の改善や居住支援が至急望まれる高齢者福祉施設
(従来型・老人ホーム／4人部屋)

現代の超高齢社会における「高齢者福祉施設」のケア環境・改善や居住支援は、介護保険のサービス制度などを基に「福祉・医療・建築」の連携が不可欠である。従って地域の高齢者福祉のため、「産学共同」による地道な取り組みが至急求められる。

■研究の目的とその背景

高齢者の住まいと地域社会への関心が高まる現代において、福祉機具の充実化とホテル並みの環境改善などが進む福祉施設でのケア環境や、各種の地域サービスに支えられた在宅での住環境が、現在どのような状況下で如何なる環境的な問題に直面しているのか、また今後どのように改善・支援されるべきなのかを、建築計画学・環境心理学の視座から詳細な調査研究を実施して、新たな方法論や改善・支援策を提案したい。

■研究内容とその特色

①介護老人福祉施設やグループホーム、小規模多機能ケア、通所施設（デイ）などのケア環境における介護ケアと居住性に関する現地調査。②現地調査の研究結果に基づく居住支援や新たな建築計画（改善）の提案。

以上の2点について、高齢者が住み慣れた自宅や近隣で暮らし続けるための地域福祉的視点や、高齢者の心理臨床、死生観、家族像などを出来る限り考慮しつつ取り組みたいと考える。

■産学共同による地域貢献

高齢者福祉の取り組みや成果などは、全国的に見て、地域格差・個人格差が拡大化してきていると思われる。こうした課題を担う本研究は、地域に密着した産学共同によってこそ果たせる地域貢献であると考えている。

福祉施設のケア環境や居住性、個室・ユニットケアなどでお困りの方や疑問をお持ちの方は、ご一報下さい。



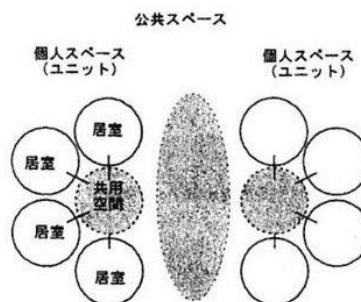
個室・ユニットケア：キッチンと共有空間



個室・ユニットケア：居室内部



グループホーム（左）と小規模多機能ホーム（右）



個室・ユニットケアの空間構成（上）
グループホームの空間構成（右）

